

令和6年度第3回広島市廃棄物減量化・資源化等推進審議会 議事要旨

1 日時

令和7年3月24日（月） 午前10時00分～午前10時40分

2 場所

広島市役所本庁舎14階第7会議室

3 出席者

(1) 委員

伊藤 圭子（会長）、佐々木 緑（副会長）、加藤 和行、古森 公人、崎田 省吾、
佐々木 敏之、鉄村 忠基、西村 千賀子、林 千秋、原田 佳子、福井 国博（以上11名）

(2) 事務局（市）

環境局長、環境局次長、施設部長、埋立地整備管理担当部長、業務部長、環境政策課長、温暖化
対策課長、施設課長、埋立地整備管理課長、埋立地整備担当課長、工務課長、業務第一課長、業務
第一課指導担当課長

4 次第

(1) 開会

(2) 議事

議題 広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（食品ロス削減推進計画を含む。）の答申案に
ついて

(3) 閉会

5 公開・非公開の別

公開

6 傍聴人の人数

0名

7 会議資料

〈会議関係〉

○ 令和6年度第3回広島市廃棄物減量化・資源化等推進審議会 配席表

○ 広島市廃棄物減量化・資源化等推進審議会 委員名簿

〈議事関係〉

○ 資料1 広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（答申案）の概要

○ 資料2 広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（答申案）

○ 資料3 広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（素案）に対する市民意見募集結果について

8 議事要旨

| 発言者 | 発言要旨 |
|---------|---|
| 伊藤会長 | <ul style="list-style-type: none"> 本日の議事は議題が1件である。事務局から議題について説明をお願いする。 |
| 環境政策課長 | <p>【議題：広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（食品ロス削減推進計画を含む。）の答申案について説明】</p> |
| 伊藤会長 | <ul style="list-style-type: none"> 議題の説明について、御意見、御質問等があれば承りたい。 |
| 林委員 | <ul style="list-style-type: none"> 新聞の折り込みに、「市民と市政」が入っており、ごみの減量等の特集記事があるが、非常に分かりやすく書いてあって、主婦にとってはありがたいものだと思う。 これは新聞を取らない人たちにも配っているのか。例えば、「家庭ごみの正しい出し方」と一緒に配っていないのか。 |
| 環境政策課長 | <ul style="list-style-type: none"> 「家庭ごみの正しい出し方」と一緒に配っていない。「市民と市政」については、新聞折込が基本となり、他にも市民の方が手に取りやすいように、区役所等の公共施設などに設置してある。 新聞を取っていない方については、個別で郵送することも可能であり、広報課が対応を行っている。 |
| 佐々木緑副会長 | <ul style="list-style-type: none"> 資料3について、市民の方から様々な意見がある中で、7ページの25番から50番の部分について、同様の意見が多く集まっているが、こういった指摘は以前からあったことなのか。 これは一人の意見なのか。また、この指摘をしているのは、事業者なのか。 |
| 環境政策課長 | <ul style="list-style-type: none"> 25番から50番の意見の中には、これまでも同趣旨の御意見等として寄せられているものもある。 複数人の意見である。この方々が事業者なのかどうかは分かりかねる。 |
| 原田委員 | <ul style="list-style-type: none"> フードバンクに提供される食品は、事業者からの規格外品が随分減って、逆にフードドライブから提供される食品が増えている。そういった中で、具体的にフードドライブをどうしたらよいのかといった質問をよく受ける。ある企業がフードバンクの支援を強めたいということがあり、具体的にどうしたらよいのか相談に来られて、フードドライブのことを紹介したこともあった。 80ページの「ウ 食品廃棄物の再生利用の促進」の部分にフードドライブのことが書かれていない。フードドライブをすることで、家庭の中でなぜそれがもったいない食品ロスになったのかがよく分かり、食品ロスを出さない、減らすために効果的だと考えている。 国や広島市の統計を見る限り、事業系に比べて家庭系の食品ロスが減りづらいと感じており、市としてフードドライブを積極的に進めるような支援体制を取ってもらいたいと考えている。 |
| 環境政策課長 | <ul style="list-style-type: none"> フードドライブについては、77ページに「(イ) 未利用食品等を提供するための活動の支援等」の二つ目に「フードドライブの推進」を記載している。ここには、フードドライブについて周知を図るとしか書いていないため、御意見を踏まえて、必要な施策や取組を検討していきたいと考えている。 80ページの「ウ 食品廃棄物の再生利用の促進」の部分は、あくまでごみとして捨てられるものの再生利用についての記載であるため、フードドライブについては、趣旨が違うと考えている。フードドライブはこちらの考え方として、未利用食品等を提供するための活動の支援として整理している。 |
| 原田委員 | <ul style="list-style-type: none"> 周知徹底する程度ではなかなか進んでいかないと思う。小学校単位でフードドライブの講習会を開くなど、具体的に言及しないと各家庭のもったいない食品ロスは減っていかない。 どのようにしたらフードドライブに参加できるのか、家の中のもったいない食品ロスを減らすことができるのかなどを市民の方等に伝えるためには、よりきめの細かい取組が必要とされていると感じている。 |
| 崎田委員 | <ul style="list-style-type: none"> 食品リサイクル・ループについて、広島市でそういった活動をしているところがあるのか。どのような活動しているのか。 |

| 発言者 | 発言要旨 |
|--------|--|
| 環境政策課長 | <ul style="list-style-type: none"> アンケート調査等により市が把握しているのは3社である。 小売店が排出した食品廃棄物を肥料にリサイクルし、リサイクルした肥料を契約農家などに渡して、そこでできた農作物を販売することでリサイクル・ループの取組を行っている。 |
| 崎田委員 | <ul style="list-style-type: none"> 今後の話として、食品廃棄物のリサイクル・ループについて、学校を中心に取組を行うことができるのであれば、ご検討いただけたらと思う。 |
| 伊藤会長 | <ul style="list-style-type: none"> 幼いころから意識を持ってもらうことは重要だと思うので、今後取り組んでいただければと思う。 |
| 原田委員 | <ul style="list-style-type: none"> 学校給食の残飯について新聞に載っていたが、その量については学校で指導する教職員によってかなり差が出てくる。市、県の残飯は非常に少ないことから、栄養教諭などの教職員が一生懸命指導されているのだと思う。 そういったことから考えると、学校での指導よりも学校給食そのものの大きな体制である共同調理に大きな課題があると思う。 |
| 伊藤会長 | <ul style="list-style-type: none"> それが食品ロスとつながってくるということか。 |
| 原田委員 | <ul style="list-style-type: none"> 給食センターなど、大量調理の場合は機械化が進むことになると思うが、その場合食品ロスが増えることになる。また、大量調理になると台風などによって急に学校が休みになった時などに、給食は作らないが、既に食材は運ばれているので、食品ロスが発生してしまう。フードバンクに寄付するなどの方法もあるが、給食費は保護者負担であるので、保護者の承諾が必要になるため難しい。栄養教諭が余った食材を次の日の献立に入れ込んで調理したりするが、栄養教諭の負担が増えるのはもちろんのこと、給食の量が多くなるため結局児童・生徒が残してしまう。学校給食の食品ロスについては、そういった問題の方が大きいように感じている。 |
| 福井委員 | <ul style="list-style-type: none"> 80ページに食品リサイクル・ループの支援について記載されているが、具体的にどういったことをする予定か、現時点の状況を教えて欲しい。 |
| 環境政策課長 | <ul style="list-style-type: none"> 現時点で具体的に何をするかまでは決まっていないが、先行する他都市などの例を挙げると、食品廃棄物の飼料・肥料化に係る経費に対する補助などを行っており、例えば自社で生ごみのリサイクルを行う場合には、生ごみ処理機の設置に対する補助を行ったり、食品廃棄物の処理を食品リサイクル施設に委託する際の費用の補助を行っている。 そういった事例を参考にしながら検討したいと考えている。 |
| 加藤委員 | <ul style="list-style-type: none"> 旅行の際などに無駄だと感じているのは、ホテルに備え付けている歯ブラシであり、ヨーロッパではほとんどない。必要な人は売店等で買えばよいと思うので、ホテルでの歯ブラシの備え付けをなしにすることについて、広島から声を上げて、日本全体でなしにしようという取組をすれば相当量の歯ブラシ等の削減になる。 こういった取組が世界的に広まればかなりの量の資源の無駄使いを減らせると思う。 |
| 伊藤会長 | <ul style="list-style-type: none"> 事業者等の意識改革が必要となるので、そういった事業者への声掛けが必要になると思う。 |
| 伊藤会長 | <ul style="list-style-type: none"> 他に御質問はないか。ないようであれば、「広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の答申案について」皆様にお諮りする。広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の答申案について、案のとおりとし、答申することに異議はないか。 |
| 各委員 | (異議なし) |
| 伊藤会長 | <ul style="list-style-type: none"> 異議なしということなので、広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の答申案について案のとおりとし、答申することとします。 この他、御意見・御質問等ないようなので、本日予定していた議事についてはこれで終了する。 |